

優良住宅部品認定基準「浴室換気改修用パネル」を新規に制定しました

2024年9月2日

一般財団法人ベターリビング

一般財団法人ベターリビングは、優良住宅部品認定基準（以下「BL認定基準」という。）「浴室換気改修用パネル」を新規に制定し、2024年9月2日付で公表・施行しました。

浴室換気改修用パネルは、換気扇取付用孔を有するパネルであり、既存開口部に取り付けることで、既存壁を開孔することなく換気設備の設置が可能となります。本部品を取り付けることにより、浴室内の換気が改善し湿気・カビの発生防止となり、浴室の快適性向上や掃除などの家事負担軽減に繋がります。さらに、本部品は室内側からの取付けが可能であり、省施工性を有する部品でもあります。住宅ストックの活用が円滑に進むことを目指し、自由提案型優良住宅部品^{*1}（申請者：日本総合住生活株式会社）の新規基準として制定し、優良な住宅ストックの形成・活用に寄与する特長を有する部品（BL-bs部品^{*2}）としました。

また、同日付でBL認定基準「宅配ボックス」の改正を行い、受領印捺印装置の定義について、配達物の受領確認を行う際に「捺印、受領書（レシート）」以外の証が残せるように見直しを行いました。分類については、屋（内・外）設置型の定義の見直しを行いました。また、保安性について、「収納した荷物が外部から見えないこと」から「第三者に収納した荷物に貼付されている宛名等が特定されないこと」に表現の見直しを行いました。

なお、今回の制定・改正に合わせ、『優良住宅部品（BL部品）ガイドブック』も更新しましたので、ぜひご活用ください。

<https://www.cbl.or.jp/blsys/guide/index.html>



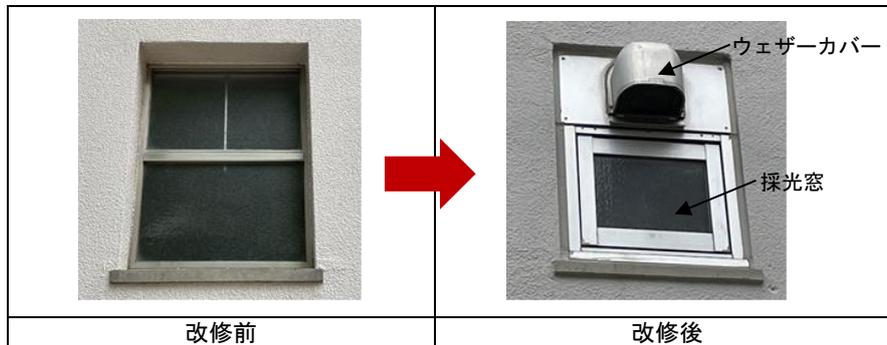
※1：品目別の認定基準が定められていない住宅部品についても、認定を受けようとする企業からの提案に対応して、1件ごとに自由提案型認定基準を定め、適合するものを認定しています。

※2：BL部品のうち、より良い社会の実現に寄与する特長を備えた優良住宅部品（BL-bs:Better Living for better society）のことで、BL-bsは社会に貢献するテーマごとにSDGsの目標達成に貢献していきます。

1. 「浴室換気改修用パネル」の新規制定

1) 新規制定の背景

昭和40年代に建設された共同住宅の浴室は、内倒し小窓による自然換気が主流でしたが、当該小窓は効率的に換気ができる十分な大きさがあるとは言えず、入浴後の換気に時間を要することが問題となっていました。窓開けによる自然換気方式から、浴室内の換気性能を向上させることができる機械式換気へ切り替えることで、短時間で効率的な換気が可能となります。そこで、既存の開口部を利用して壁を開孔することなく機械式換気への切り替えができるパネルを、新たな住宅部品として普及させるため本基準を制定しました。



外観イメージ※BL認定品ではありません。

2) 認定基準制定のポイント

本認定基準の主な制定のポイントは、下記のとおりです。

- ① 既存開口部に本部品を取り付けることで、自然換気方式から機械換気方式への切り替えが可能となります。
- ② 換気扇本体は、ユーザーや住宅供給者が求める性能等に応じて自由に選定できるよう、本基準の対象外とし、換気扇取付用孔径（パイプファン径）を明確にすることを求めています。
- ③ 設置する箇所に応じて、防火ダンパーを付加できます。
- ④ 開口部（サッシ）に求められる気密性、水密性、耐風圧性と同等の性能を求めています。
- ⑤ 室内側から施工が可能で、施工時間が短く、住みながらの改修施工が行えることを求めています。ユニットバスへの改修にも対応しています。

2. その他の基準の改正

1) 宅配ボックス

- ① 市場動向に合わせた見直し

『受領印捺印装置』の用語の定義は、「捺印又は受領書（レシート）を発行できる装置」と定義していましたが、それ以外の方法でも受領ができるよう見直しを行いました。

また、『屋内設置型』及び『屋外設置型』の用語の定義は、設置場所等を限定する表現を削除しました。

保安性に係る要求事項は、「収納した荷物が外部から完全に見えないこと」としていましたが、要求事項の主旨は「第三者に収納した荷物に貼付されている宛名等が特定されないこと」であることから、表現の見直しを行いました。

- ② JIS 規格改正に伴う基準改正

最新版の引用 JIS 規格(JIS G 3313 (電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯))に更新しました。

以上